

令和7年度 学校経営方針

令和7年4月1日 京都市立金閣小学校

小中一貫教育目標

地域の学校での連続した学びを通して、学び意欲をもち、実践力のある子どもを育てる
～地域社会の一員として、伝統を重んじ、未来を創造する子どもを～



学校教育目標

自分の夢や希望に向かって、自ら考え行動する子の育成
～「なりたい自分」に向かってチャレンジする金閣の子～



育てたい資質や能力

- 多様な他者を理解し、自分から思いやりをもって関わろうとする力 【人間関係形成力】
- 自分の思いを話し言葉や書き言葉で豊かに伝えようとする力 【表現力】



めざす子ども像

- よく考えて学ぶことを楽しむ子 【学力】
- 自分や友だちを大切にする 【人権】
- ルールとマナーを大切にする子 【豊かな心】
- 運動を楽しみ、命を大切にする子 【健やかな体】

1 めざす子ども像の具体化

「よく考えて学ぶことを楽しむ子」・・・**学力向上**

- *授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって楽しんで学習する子ども
- *基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- *様々な情報を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

「自分や友だちを大切にする子」・・・**自尊感情**

- *自分の良さに気づき、その良さを素直に認め、さらに伸ばそうとする子ども
- *仲間の良さやがんばりを素直に認め、相手のことを考えた言動ができる子ども
- *様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方や言葉遣いを身に付けている子ども

「ルールとマナーを大切にする子」・・・**ルール・マナー・エチケット・思いやり**

- *学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- *仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- *思いやりをもって人との関わりを楽しみ、マナーを大切にできる子ども

「運動を楽しみ、命を大切にする子」・・・**基本的生活習慣**

- *命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- *食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的生活習慣を身に付けている子ども
- *運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくろうとする子ども

2 目指す教職員像 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。
【徹底】
- ②個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量（指導力）や人権感覚の向上をめざす。
【研鑽】
- ③全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、信頼できる大人としてのモデルを示すことができるようにする。
【参画】
- ④学力向上・規範意識の高揚を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。
【結果】

3 今年度の取組の重点

キーワード
『強化』

(0)「組織力」「環境（学習環境・職場環境）」・・・チーム金閣

- *コミュニケーション、風通し、明るく温かい雰囲気のある職場づくり（ソフト面）
- *美しい職場環境づくり（ハード面）⇒職員室・廊下・特別教室 等
- *落ち着いた学習環境の整備
⇒ソフト面：ゴールドあいさつ・丁寧な言葉づかい・ありがとう・さん付け 等
ハード面：教室（学習室・特別教室）・廊下・中庭・靴箱 等

(1) 学習規律、基礎・基本、関心・意欲、思考力・表現力、自学自習、各種調査分析

・・・『楽しい・わかった』が聞こえる

- *学習規律の徹底 ⇒返事、丁寧な言葉づかい、体を向ける、ハンドサイン 等
- *個別最適化、支援が必要な児童への学力保障、通級指導・日本語指導教室との連携
- *「楽しい授業」「わかる授業」「考え、表現する授業」の積み重ね
⇒学習問題・めあて・学習問題・まとめ・ふり返りの黒板掲示用カードの活用
⇒導入の工夫、動機付け（しかけ）、思考を促す発問、話し合いの視点
⇒的確な支援【ICTの活用視覚教材・見やすい板書・指示 等】
- *若手・中堅研修等での積極的な授業公開、中堅・ベテラン教員の主催研修
- *GIGA 端末の日常的・主体的な活用、「誰一人取り残さない」視点
- *不登校児童や教室で学習が行えない児童への学習保障
- *学校図書館の積極的な活用
⇒読書環境の充実：読書ノート・バッグの活用、学校司書との連携、読書週間
⇒「学習・情報センター」として授業での活用・・・ICTだけに頼らない授業
- *家庭学習（自学自習）の習慣化 ⇒宿題：提出の徹底と個別化、自学：内容の紹介
★漢字・計算、音読・読解、問題集、デジタルドリルの活用、ノートの掲示

(2)「人権感覚」「自尊感情（自己肯定感・自己有用感）」「規範意識」

・・・マナー・エチケット・思いやり

- *人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり
⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感
⇒一人一人が大切にされ、居心地の良い学級経営
⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援
⇒「金小宣言への道」の徹底
- *人権に関わる学習活動や取組の着実な実践
⇒「なかまの日」「学級での人権学習」「たてわり活動」等の充実

- ⇒同和問題に関する指導、外国人教育、総合育成支援教育 等
- ⇒人権に関する参観・懇談会の充実・・・今年度は「総合育成支援教育」
- ⇒福祉教育（聖嬰会との連携と児童理解）・・・金小訪問、聖嬰会との合同研修
- ⇒新たな人権課題への対応：「L G B T Q」「情報モラル」「虐待」「ヤングケアラー」

- *「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践
- ⇒生徒指導部会、ケース会議、保健室・S C・S S W及び家庭との連携
- ⇒「くらまね」「いじめアンケート」「ホットステーション」の活用
- ⇒『金閣のやくそく』についての継続的でぶれない指導、徹底

(3)「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」・・・自分でできる

- *健康教育推進計画に基づく実践の継続
- ⇒基本的な生活習慣の定着に向けて：食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム
- ・「生活リズムしらべ」の結果に基づく指導（子ども・保護者）
- ・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携
- ・体育学習の授業改善、休み時間の過ごし方 等

*自分の命・健康を守り切る力の育成

- ⇒学級活動：安全ノートの活用、避難訓練：様々な想定・HANAモデル…支部発表

*「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応

*防災マニュアルの改善と共通理解、校内の危険箇所の点検と整備

(4)「コンプライアンス」「働き方改革」「SDGs」「その他」・・・生き生きと

*法令遵守の徹底、教育公務員としての倫理観の向上

- *時間・物の有効活用＝放課後の時間の捻出、仕事コントロール、ワークライフバランス
- ⇒会議等の時間、電話対応・施錠時刻、仕事のめりはり、授業時数の見直し
- ⇒働き方改革の環境づくり・・・整頓された職場環境・働きやすさ・働く意欲
- ⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見通しをもった購入、光熱水費等の節約

*地域、関係諸機関との積極的な連携・「幼保小の架け橋プログラム」

- ⇒衣笠中学校区四校、幼稚園・保育所、児童館、児童相談所、北区役所 等

*K Y O T O×教育D Xビジョンの積極的な実践

- ⇒学校全体のレベルをさらに上げ、児童のスキルの向上